

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	② 地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	糸島市民まつり事業				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	「糸島市民まつり」を市民協働で開催することで、市が目指す「人も元気 まちも元気新鮮都市 いとしま」を実現し、市の魅力発信・提供、市民との一体感の醸成を図る。				事業主体	糸島市民まつり振興会			
					実施方法	補助			
事業内容	糸島市の持つ人と地の「力」を最大限に発揮し、市民ボランティアと市職員等が協働でイベントの企画・運営を行う。市内・外から幅広い地域・年代の人たちの来場を促し、来場者に市の魅力を様々な形で伝達する。 ○メイン会場(志摩庁舎駐車場) ・グルメグランプリ・よかもん物産展、公共ブース設置等 ○花火大会(加布里漁港広場)				進捗状況・現状	【来場者の推移】 平成26年度 60,000人 平成27年度 70,000人 平成28年度 60,000人 市を代表する「まつり」として市内外に認知されており、来場者数も高い水準で安定して推移している。			
事業期間	-				会計種類	一般会計			
事業費 (平成30-32年度)	26,000	千円	(うち市予算化分) 26,000	千円	予算科目	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した3年間事業費	21,000	千円	21,000	千円		2	1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	市の魅力発信・提供、市民との一体感の醸成	活動指標	市民まつりに参加した市民団体等の出店数・出演数(団体)			0	128	150	
		成果指標	来場者数(人)			0	60,000	70,000	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他	2,000			2,000		
	一般財源	7,000	10,000	9,000	26,000		
事業費(A)		9,000	10,000	9,000	28,000		
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金	補助金			
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	15.7	
総コスト(A+B)		10,740	11,740	10,740	総コスト計	33,220	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
ふるさと応援基金		その他	ふるさと応援寄附条例			-	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	② 地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	コミュニティ助成事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、行政区の備品やコミュニティの拠点となる施設を整備することで地域活動を活発にし、伝統継承や青少年・後継者育成をさらに進めることで、地域コミュニティの活性化につながる。			事業主体	糸島市民まつり振興会行政区			
				実施方法	補助			
事業内容	一般コミュニティ助成事業(事業実施主体:西堂自治会)			進捗状況 ・ 現状	平成29年度に助成申請を行い、平成30年3月末に助成が決定。			
	盆踊り用機材を整備し、伝統行事を継承することにより、後継者の育成と会員間の融和を図り、地域の活性化を図る。				【過去3年間の経過】 ・平成27年度 1件 1,800千円 ・平成28年度 1件 2,500千円 ・平成29年度 1件 2,300千円			
事業期間	平成30年度～平成30年度(1年間)			会計種類	一般会計			
事業費 (平成30-32年度)	2,400	千円	(うち市予算化分) 2,400	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した3年間事業費	-	千円	-	千円		2	1	17
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
地域住民	後継者の育成 地域住民の交流	活動指標	盆踊りの開催	1	1	1		
		成果指標	地域住民の行事・催事の参加者数	延べ500	延べ500	延べ750		

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他	2,400			2,400		
	一般財源				0		
事業費(A)		2,400	0	0	2,400		
事業費内訳(主なもの)		助成金					
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%)	42.0	
総コスト(A+B)		4,140	0	0	総コスト計	4,140	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
コミュニティ助成事業		その他	財団法人自治総合センター コミュニティ助成事業実施要項			100%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑤ 生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	前原南公民館大規模改修・建替え調査等業務委託事業			担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	前原南公民館の大規模改修・建替えに関するコンサル業務を委託し、大規模改修もしくは建替えの検討資料とする。			事業主体	糸島市			
				実施方法	一部委託			
事業内容	前原南公民館の現状調査を建築コンサルティング業者に委託するとともに、大規模改修及び建替えの比較調査を構造、コスト、利便性等の観点から実施する。 また、基本方針策定、概算工事費の算出も併せて行う。			進捗状況・現状	前原南公民館は、築32年が経過し、施設の老朽化が激しく、大規模改修もしくは建替えの方針決定が求められる。また、伊都の杜行政区の新設により、今後人口増加も見込まれる。公民館は、避難所としての機能も求められ、緊急度が高い事業である。 前原南校区からは建替え要望書が提出されている。			
事業期間	平成30年度(1年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	1,944	千円	(うち市予算化分) 1,944	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円		10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	大規模改修もしくは建替えに関する比較調査等の進捗率(%)	0	0	100		
		成果指標	大規模改修もしくは建替えの方針決定			決定		

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	1,944			1,944		
事業費(A)		1,944	0	0	1,944		
事業費内訳(主なもの)		調査等業務委託料					
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%)	47.2	
総コスト(A+B)		3,684	0	0	総コスト計	3,684	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦ スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	糸島市運動公園等整備事業			担当部課	企画部	経営戦略課	
事業目的	運動機能、交流機能、防災機能等を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。 また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	その他		
事業内容	≪導入機能・規模≫ ・場所: 雷山運動広場及びその周辺 ・面積: 約58,000㎡ ・施設: 多目的体育館(約7,200㎡)、公園、フリースペース、駐車場等 ・機能: 運動機能、交流機能、防災機能 ≪整備手法・整備費用≫ ・整備手法: 設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」 ・整備費用: 約50億円			進捗状況・現状	平成24年3月 「総合運動公園の整備を求める請願」の採択 平成25年12月 「運動公園等の整備に関する方針」の決定 平成27年4月 「糸島市運動公園等整備構想」の策定 平成28年3月 「糸島市長期総合計画後期基本計画」の策定 平成29年3月 「糸島市運動公園等整備計画」の決定		
事業期間	平成30年度～平成34年度(5年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	4,965,490	千円	(うち市予算化分) 4,965,490	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	運動機能、交流機能、防災機能等を備えた運動公園等を利用できること	活動指標	運動公園等の整備(%)	0	0	100	
		成果指標	運動公園等の利用者数(人)	-	-	-	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
財源内訳	国庫支出金				0
	県支出金				0
	地方債	40,900	105,700	100,700	247,300
	その他				0
	一般財源	18,553	26,847	11,307	56,707
事業費(A)		59,453	132,547	112,007	304,007
事業費内訳(主なもの)		アドバイザー契約 地質調査委託 測量業務委託	アドバイザー契約 用地取得費 委員会報償費	設計業務	
従事職員数(人)		3	3	3	平均人件費 8,700
人件費(B)		26,100	26,100	26,100	人件費割合(%) 20.5
総コスト(A+B)		85,553	158,647	138,107	総コスト 382,307
特定財源の名称(用途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等		補助率、交付税措置率等
合併推進債		地方債	合併特例事業推進要綱(充当率90%)		40%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦ スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	体育施設改修整備事業				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	体育施設の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増進を促すなどスポーツ振興を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	<p>体育施設の危険箇所等の改修を計画的に行う。</p> <p>[平成30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 志摩体育館天井改修実施設計委託 ・志摩体育館天井補修 芥屋野球場改修実施設計委託 芥屋野球場防球ネット設置(三塁側) 等 <p>[平成31年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 芥屋野球場防球ネット設置(一塁側) ・志摩体育館アリーナ改修 曾根野球場防球ネット設置 しおさい運動場防球ネット改修(三塁側) 等 <p>[平成32年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 曾根野球場トイレ下水化工事 ・芥屋野球場トイレ改修 しおさい運動場防球ネット改修(一塁側) 等 				進捗状況 ・ 現状	平成29年度、曾根野球場一塁側防球ネット設置工事実施(予定)。 体育施設は、いずれも設置後年数が経過しており、老朽化が著しい。また、防球ネット未設置箇所があるなど危険な状況にある。		
事業期間	平成29年度～平成32年度(4年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	121,729	千円	(うち市予算化分)	121,729	予算科目	款	項	目
				千円		10	5	2
昨年度の実施計画に計上した総事業費	29,318	千円		29,318	千円			
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
体育施設利用者	安全に体育施設を利用したい 快適に体育施設を利用したい		活動指標	改修した体育施設数(施設)	0	2	9	
			成果指標	体育施設利用者数(人)	136,324	174,043	180,000	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	58,468	35,446	17,771	111,685		
事業費(A)		58,468	35,446	17,771	111,685		
事業費内訳(主なもの)		工事請負費委託料	工事請負費委託料	工事請負費			
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	4.5	
総コスト(A+B)		60,208	37,186	19,511	総コスト計	116,905	
特定財源の名称(用途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦ スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	体育施設インターネット受付システム導入事業			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	体育施設の利用申請において、インターネット受付システムを導入することにより、利用者の利便性の向上及び職員の仕事軽減による行革の推進を行う。			事業主体	糸島市		
				実施方法	その他		
事業内容	体育施設の利用申請において、インターネット受付システムを導入する。 >クラウド方式による運用 =>サーバー設置不要による初期投資の軽減 >LGWAN-ASP接続資格に合格したセキュリティ機能を有するシステムを導入			進捗状況・現状	>体育施設の利用受付については、窓口受付のみとしており、利用者からインターネット受付を要望する声が多数ある。 >福岡都市圏において、実施調査を行ったところ、半数の6市町がインターネット受付を実施している。 >年間約4,500件の受付事務に対し、750時間の事務時間がかかっている。		
事業期間	平成30年度(1年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	1,998	千円	(うち市予算化分) 1,998	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	5	2
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
体育施設利用者	手軽に体育施設を利用したい	活動指標	インターネット受付システム導入(件)	0	0	1	
		成果指標	インターネットによる申請件数(件)	0	0	4,500	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他	1,998			1,998		
	一般財源				0		
事業費(A)		1,998	0	0	1,998		
事業費内訳(主なもの)		委託料 使用料及び賃借料					
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700	
人件費(B)		2,610	0	0	人件費割合(%)	56.6	
総コスト(A+B)		4,608	0	0	総コスト計	4,608	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
糸島市ふるさと応援基金		その他	糸島市ふるさと応援寄附条例				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(3) 人権・同和教育の推進
施策	⑧ 人権問題解決のための啓発活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	人権センター改修事業			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課		
事業目的	①人権センターは、基本的人権の尊重の精神に基づき、同和問題の完全解消をはじめとするあらゆる人権問題の解決に資するため設置されている。また、人権啓発・教育及び住民交流の拠点であり、人権啓発事業と市民利用促進の充実を図るため、施設の機能を充実させる。 ②人権センターは、市の防災計画で指定避難場所とされ、災害発生の際、被災者の避難生活が長期化した場合に、安定した生活環境を提供する必要がある。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	人権センター3階空調機改修工事			進捗状況・現状	3階各会議室は、人権啓発等の講演会や研修会などに利用されており、平成10年に空調改修をしているが、現時点では老朽化が進んでいる。一時的に修繕を行う場合、部品の調達が困難な状況である。 また、総務省の緊急防災・減災事業債の対象事業として要望書を提出している。			
事業期間	平成30年度(1年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	32,622	千円	(うち市予算化分) 32,622	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円		3	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
利用者	利用者の交流機会増と災害時の避難場所の機能	活動指標	人権センター3階各会議室空調機改修工事(%)	0	0	100		
		成果指標	年間施設利用者数(実人数)(人)	25,500	25,500	26,000		

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債	31,300			31,300	
	その他				0	
	一般財源	1,322			1,322	
事業費(A)		32,622	0	0	32,622	
事業費内訳(主なもの)		工事費(空調改修費) 委託料(設計業務委託費)				
従事職員数(人)		0.4			平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	0	0	人件費割合(%)	9.6
総コスト(A+B)		36,102	0	0	総コスト計	36,102
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
緊急防災・減災事業債		地方債	地方債同意等基準運用要綱(充当率100%)			70%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(4) 男女共同参画の推進
施策	⑨ あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	しごとづくりプロジェクト

【事業の内容について】

事業名	女性が輝くミライ事業			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課	
事業目的	これからの糸島を担う若年者を中心に、男女共同参画社会の推進に必要なジェンダーの視点を啓発し、社会人として自立して「生きる力」を育成するとともに、働きたいと思う女性の就業を支援する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	<p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 若年者向けの啓発冊子を作成し、市内小・中学校に配布。</p> <p>【職場体験交流会事業】 市内企業で働く「先輩たち」との交流を通じ、糸島で「働く」ことの意味を考える機会を提供。</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 市内小学校や中学校等に出向き、ジェンダーの視点から、楽しく学ぶ機会を提供。</p> <p>【ミライ会議事業】(平成31年度実施予定) ジェンダーの視点を踏まえたうえで、今後の「生き方」や「生きる力」について、自分たちで考え、議論する場を創出。</p> <p>【女性の再就職支援事業】 資格取得講座を開催(委託)し、再就職や就業継続に向け希望する女性を支援。</p>			進捗状況・現状	<p>●平成29年度から事業開始(平成29年7月末時点)</p> <p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 市内中学校全てに配布済 配布冊数:約900冊</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 開催回数:3回 受講人数:約320人 ※生徒及び教員向けに実施</p> <p>【女性の再就職支援事業】 商工観光課と連携して、就職面談会に向けた支援講座を9月に開催予定。 また、平成29年度は、起業支援に向けた連続講座を開催予定。</p>		
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	5,265	千円	(うち市予算化分) 5,265	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	5,279	千円	5,279	千円	2	1	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民(子ども)	市民の意識向上	活動指標	キャリア教育受講者(人)	0	320	3,000	
		成果指標	「これからの人生を考えるのに役に立った」(%) ※受講後、アンケートを実施	0.0	0.0	80.0	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
財源内訳	国庫支出金				0
	県支出金				0
	地方債				0
	その他	160	160		320
	一般財源	1,526	1,726		3,252
事業費(A)	1,686	1,886	0	3,572	
事業費内訳(主なもの)	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料			
従事職員数(人)	0.8	0.8		平均人件費	8,700
人件費(B)	6,960	6,960	0	人件費割合(%)	79.6
総コスト(A+B)	8,646	8,846	0	総コスト計	17,492
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
参加者負担金	その他	@8,000円×20人=160,000円			定額

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(6) 九州大学との交流の推進
施策	⑫ 大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	子育て支援プロジェクト、九州大学を生かした地域づくりプロジェクト

【事業の内容について】

事業名	九大寺子屋事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	九大生が小学校に出向き、自らの研究内容を分かりやすく児童に教え、児童と交流することで、児童の学習意欲の向上を図ること。(副次的:児童の将来の夢の創造、九大生への憧れの喚起、郷土愛の醸成により、子育て世代の移住促進)			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	<p>○市内8校(前原、加布里、長糸、怡土、雷山、一貴山、可也、姫島)で実施(5年生対象、原則土曜授業)。1校あたり5人の九大生が参加すると想定。姫島小学校のみ15人参加を想定。</p> <p>○九大生が市内小学校に出向き、自らが学ぶ研究内容を分かりやすく児童に教える。</p> <p>○九大生に謝礼と交通費を合わせた諸謝礼を支給。授業に必要な消耗品(実験グッズ等)も支給する。</p>			進捗状況 ・ 現状	<p>○H27年度から、福岡県広域連携プロジェクト推進会議主催で実施。H27:1校(計10コマ)、H28:2校(計18コマ)、H29:5校(計30コマ)で実施し、別途「ワンデイ寺子屋」をH28は2校で実施し、H29は1校で実施。</p> <p>○児童、保護者、学校から一定の評価あり。本市だから実施できる、効果の高い事業。</p> <p>○質の高い九大生の確保と継続性、全市民的な広がり、市職員の事務負担等が課題。</p> <p>○H30年度は市の主催事業となる。</p>			
事業期間	平成30年度～平成32年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	4,800	千円	(うち市予算化分) 4,800	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市内の児童	学習意欲の向上	活動指標	九大寺子屋の実施校(累計)(校)	0	0	30		
		成果指標	勉強をして、おもしろい、とても楽しいと思う児童の割合(%)	50	50	80		

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他	1,600			1,600		
	一般財源		1,600	1,600	3,200		
事業費(A)		1,600	1,600	1,600	4,800		
事業費内訳(主なもの)		> 諸謝礼 > 旅費 > 消耗品費	> 諸謝礼 > 旅費 > 消耗品費	> 諸謝礼 > 旅費 > 消耗品費			
従事職員数(人)		0.6	0.6	0.6	平均人件費	8,700	
人件費(B)		5,220	5,220	5,220	人件費割合(%)	76.5	
総コスト(A+B)		6,820	6,820	6,820	総コスト計	20,460	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
糸島市ふるさと応援基金		その他	糸島市ふるさと応援寄附条例				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(6) 九州大学との交流の推進
施策	⑫ 大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	九州大学を生かした地域づくりプロジェクト、校区まちづくり推進プロジェクト、子育て支援プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	九州大学連携交流事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	九州大学と市民との交流機会の増大を図り、相互理解を深める。				事業主体	糸島市		
					実施方法	補助		
事業内容	<p>【九大連携交流補助金】従来の一般事業、育成事業、ようこそ九大生交流事業に加え、「留学生等交流事業」を新設。</p> <p>【いとしまサイエンスキャラバン】九大研究者の市民向け公開講座。</p> <p>【中学生のための九大模擬授業】九大祭に合わせ、九大の若手研究者がキャンパス内の教室で市内中学生向け授業を実施。</p> <p>【水素エネルギー学習体験事業】市内の児童・生徒が九州大学水素エネルギー国際研究センターを訪れ、水素ステーション等の見学、スタッフからの解説、簡易な実験グッズによる体験学習を行う。</p>				進捗状況・現状	<p>○交流補助金制度は、市民団体提案事業、学生団体提案事業にそれぞれ一般事業と健全育成事業があり、補助率及び補助金の限度額を設定。また、平成29年度からようこそ九大生交流事業を新設し、より気軽に九大生を招待可能となった。</p> <p>○交流補助金制度の利用が少ない。</p> <p>○いとしまサイエンスキャラバンは、市民向け公開講座。(H29年度は40人参加)</p>		
事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	4,500	千円	(うち市予算化分)	4,500	予算科目	款	項	目
				千円		2	1	7
昨年度の実施計画に計上した総事業費	4,500	千円		4,500	千円			
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民 九州大学学生	交流機会の増加	活動指標	補助事業数(延べ事業)(件)		65	70	109	
		成果指標	交流事業(延べ事業)(件)		179	192	299	

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他	1,500			1,500		
	一般財源				0		
事業費(A)		1,500	0	0	1,500		
事業費内訳(主なもの)		>補助金: 1,150 >講師謝礼: 46 >消耗品費: 222 >その他: 82					
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700	
人件費(B)		2,610	0	0	人件費割合(%)	63.5	
総コスト(A+B)		4,110	0	0	総コスト計	4,110	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
糸島市ふるさと応援基金		その他	糸島市ふるさと応援寄附条例				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(6) 九州大学との交流の推進
施策	⑫ 大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	九州大学を生かした地域づくりプロジェクト

【事業の内容について】

事業名	九大生糸島生活“熱烈応援”事業				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	九大生の糸島市内での生活を応援することで、市内定住を促す。その結果、九大生が糸島市を第2の故郷と身近に感じ、将来にわたって糸島市を応援してもらえる。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	○九大生自転車又は排気量50cc以下の原動付自転車(原付バイク)購入補助:市内居住の学生を対象に、市内で購入した自転車又は原付バイク購入費用の補助を行う。 ○九大生向けサービスPR:九大生向け補助制度のPRチラシを作成し、イベントでの配布、合格者案内への同封、九大生協が新入生向けに発行する住まい探しパンフへの記事掲載、九大食堂内へのデジタルサイネージ広告等を行う。				進捗状況・現状	○九大生向けの補助制度として、市内在住九大生に対し、1万円を上限に自転車購入費補助を実施。 ○九大生は、市内に約1,300人居住。 ○市内に居住する九大生が住民登録をしていないケースがある。 ○九大生に対する実質的な補助は自転車購入費補助のみである。			
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	3,724	千円	(うち市予算化分)	3,724	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	3,363	千円		3,363	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値		
九州大学学生	生活利便性の向上	活動指標	自転車(原付バイク)購入費補助累計申請件数(件)		237	237	400		
		成果指標	九大生の市内居住者数(人)		1,307	1,307	1,500		

【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	128			128	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,128			1,128	
	一般財源		1,256	0	1,256	
事業費(A)		1,256	1,256	0	2,512	
事業費内訳(主なもの)		>補助金(自転車、原付バイク) >印刷製本費 >広告掲載手数料	>補助金(自転車、原付バイク) >印刷製本費 >広告掲載手数料:			
従事職員数(人)		0.4	0.4		平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	3,480	0	人件費割合(%)	73.5
総コスト(A+B)		4,736	4,736	0	総コスト計	9,472
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等		補助率、交付税措置率等	
地方創生推進交付金		国庫支出金	地域再生法		50%	
糸島市ふるさと応援基金		その他	糸島市ふるさと応援寄附条例			